

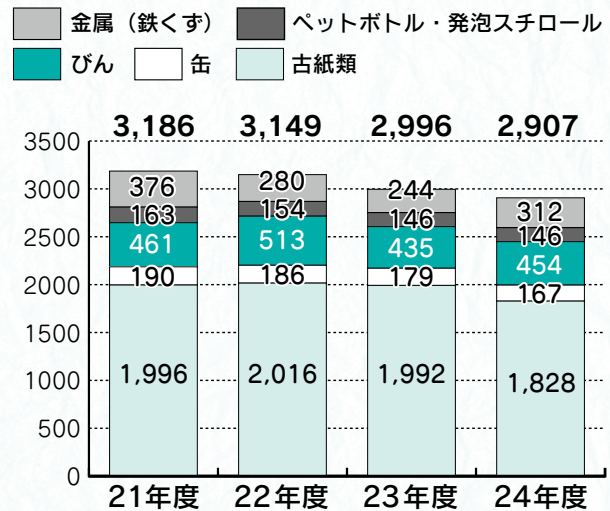
## 資源ごみの売却実績

【図2】と【表2】は資源ごみの売却量と売却金額の推移を表しています。

23年度と比べると、24年度は売却量が89トン（約3.0%）減少し、売却金額も842万円（約15.7%）減少しています。

なお、売却量が年々減少しているのに対して、売却金額に増減があるのは、引取価格を入札により決定していることによるもので、入札時の市場取引価格により大きく変動します。

【図2】 資源ごみの売却量の推移（単位：トン）



【表2】 資源ごみの売却金額の推移（単位：万円）

	古紙類	缶	びん	ペットボトル・発泡スチロール	金属類 (鉄くずなど)	合計
平成 21 年度	1,776	862	110	441	945	4,134
平成 22 年度	2,766	1,268	84	681	954	5,753
平成 23 年度	2,223	1,282	47	803	1,000	5,355
平成 24 年度	1,807	992	42	655	1,017	4,513

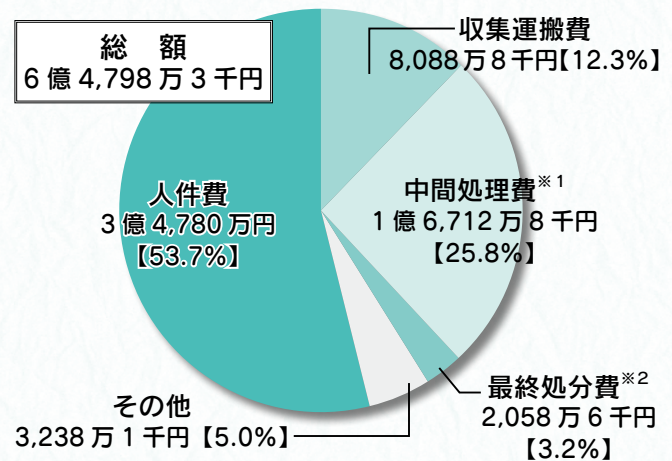
## ごみ処理経費

平成 23 年度のごみ処理経費は約 6 億 4,798 万 3 千円で、内訳は【図3】のとおりです。1 世帯あたりでは約 22,900 円、1 人あたりでは約 9,900 円、年間のごみ処理にかかったこととなります。また、1 トンのごみを処理するのに約 23,700 円かかったこととなります。

現在の焼却施設は、稼働して約 30 年になります。老朽化した施設の整備のほか、収集・埋め立てなど、ごみを適正に処理するために維持管理費が必要になります。

最近、燃やせるごみの中に、古紙類や無色のペットボトル等が混じっているのが見受けられます。これらを分別することで資源を再利用することができ、燃やせるごみの量を減らすことができます。

【図3】 ごみ処理経費の内訳（平成 23 年度）



※ 1 中間処理費…焼却・焼却灰処理など

※ 2 最終処分費…埋立・不燃ごみ処理委託など

人口	65,740 人
世帯数	28,390 世帯
年間ごみの排出量	27,444 トン

※平成 24 年 3 月 31 日現在